

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成30年3月31日

計画の名称	29 連続立体交差化による市街地の交通環境改善									
計画の期間	平成25年度～平成29年度(5年間)	交付対象	福岡県							
計画の目標	鉄道を連続立体交差化することにより、交通渋滞及び踏切事故の解消を図る。また分断された市街地を一体化することによって、土地の利用価値を向上させ、都心活性化を図る。									
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅～下大利駅)の踏切により遮断される交通量を47万台時/日から0万台時/日へ削減する 西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅～下大利駅)の踏切において発生する事故による経済的損失を14.8億円/10年から0億円/10年へ削減する 									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
			当初現況値	中間目標値	最終目標値					
西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅～下大利駅)の踏切遮断交通量の削減 春日市、大野城市の西鉄天神大牟田線に設置されている踏切の遮断時間に交通量を乗じることにより算定			47万台時/日	47万台時/日	0万台時/日 (H32)		※高架化の完了時に効果を発 現させる			
西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅～下大利駅)の踏切における事故の削減 踏切事故における経済損失を費用便益分析マニュアルに沿って算定			14.8億円/10年	-	0億円/10年 (H32)					
連続立体交差事業の事業進捗率 福岡市と連携し整備を行う連続立体交差事業の事業管理においての事業進捗率を算定			34.9% (H24末)	59.7% (H27末)	75.4% (H29末)					
	合計 (A+B+C)	14,388 百万円	A	14,388 百万円	B	百万円	C	百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
<ul style="list-style-type: none"> 西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅～下大利駅)の踏切遮断交通量の削減 西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅～下大利駅)の踏切における事故の削減 連続立体交差事業の事業進捗率 	平成29年9月8日～平成30年3月2日 公表の方法 ホームページ及び閲覧

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																		
A 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業 主体	道路 種別	省略 工種	率 (基本)	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
												H25	H26	H27	H28	H29		
29-A1	街路	一般	福岡県	直接	福岡県	S街路	改築	5.5/10	西鉄天神大牟田線(春日原～下大利)	連続立体交差 3.30km	大野城市、春日市						14,388	整備中
												小計(市街地整備事業)			14,388			
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業 主体	省略 工種	率 (基本)	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
											H25	H26	H27	H28	H29			
												合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考			

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業 主体	省略 工種	率 (基本)	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅～下大利駅)の踏切遮断交通量の削減は、高架化完了時に効果が発現するため、今回は評価対象外とした。 西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅～下大利駅)の踏切における事故の削減は、高架化完了時に効果が発現するため、今回は評価対象外とした。 連続立体交差事業の事業進捗率は、81.9%となった。(当初目標より+6.5%進捗できた) 			
II 定量的指標の達成状況	指標①西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅～下大利駅)の踏切遮断交通量の削減	最終目標値	0万台時/日	目標値と実績値に差が出た要因	高架化完了時に効果発現を目指す。
		最終実績値	47万台時/日		
	指標②西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅～下大利駅)の踏切における事故の削減	最終目標値	0億円/10年 (H32)	目標値と実績値に差が出た要因	高架化完了時に効果発現を目指す。
		最終実績値	14.8億円/10年		
	指標③連続立体交差事業の事業進捗率	最終目標値	75.4%(H29末)	目標値と実績値に差が出た要因	効率的な事業執行に努め、目標を達成した。
		最終実績値	81.9%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項 (今後の方針等)					
<ul style="list-style-type: none"> 鉄道立体交差化や渋滞対策事業の早期効果発現に取り組みます。 					

(様式第8)

社会資本総合整備計画 参考図面

